



KOFU21
Chartered 1990

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8653

国際会長主題 Mission with Faith 信念のあるミッション
アジア会長主題 Through Love, Serve 愛をもって奉仕をしよう
東日本区理事主題 原点に立って、未来へステップ
あずさ部長主題 ワイズメンとして一歩前進
甲府21会長 小さなことを忠実に行動

2016
1月号

★今月の聖句★

主なる神は言われる、
「見よ、私がききんをこの国に送る日が来る、
それはパンのききんではない、
水にかわくのもない、
主の言葉を聞くことのききんである。」
(口語訳旧約聖書 アモス書8章11節) 布能壽英会員選

2016年 新年(甲府・甲府21クラブ)合同例会
担当 甲府クラブ

日時 2016年1月12日(火)18:30～
会場 談露館
司会 武田信男

開会点鐘 甲府クラブ 秋山仁博会長
ワイズソング (6ページ)
ワイズの信条 (6ページ)
会長挨拶 甲府クラブ 秋山仁博会長
甲府21クラブ 駒田勝彦会長
ゲスト・ビジター紹介 甲府クラブ 秋山仁博会長
来賓ご挨拶
会員ひと言 布能壽英メン
乾杯 渡辺隆東日本区理事
懇親会
会員卓話
「申年の年頭に～三猿・庚申・猿橋」
石川 博メン

諸報告
Happyバースディ & アニバーサリー
YMCAの歌 (6ページ)
閉会点鐘 甲府21クラブ 駒田勝彦会長

ワイズメンズクラブ モットー
『強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う』
『To acknowledge the duty
That accompanies every right』

1月の誕生者

(メン)
該当なし
(メネット)
中島 千香(1) 清藤 和子(11)

12月のデータ (在籍数 20名)

12月例会出席者数	20名
ゲスト14名 メネット12名	計46名
12月第二例会出席者数	9名
出席率 20/20	100.00%
ニコニコ募金	800円
ニコニコ募金累計	15,901円

●●●● 今後の予定 ●●●●

- 1月20日(水) 第2例会YMCAセンター～若奴18時30分～
- 2月 2日(火) 例会 YMCAセンター 19時～
- 2月13日(土) あずさ部第2回評議会
- 2月16日(火) 第2例会YMCAセンター～若奴18時30分～

2015-2016年度

1月

会 長 挨拶

駒田勝彦会長

<ヤツデ>(八手)

冬に咲く数少ない花、ヤツデの花には、注目すべき特徴があります。おしべが成熟して花粉を出し、蜜も出します。やがておしべと花びらが散ります、すると今まで小さかっためしべが伸び始めます。めしべが成熟するとふたたび蜜を出して虫を呼びます。花粉を着けてもらうためです。また花の咲く順番に規則性があります。先ず円錐形の頂点の小花序が咲き、次に大きな分岐の先端の小花序、その後に大きな分岐から分かれた小分岐の小花序が咲くのです。ヤツデの花は、白く夏などの花々がある時はほとんど目に止まらないでしょう、冬でも目を止める方は少ないようです、でも冬の花の少ない時なので目に付きます。葉も花も独特な特徴があり、寒さに負けないそして地味だけど知られない力を持っている。

私もそうでありたいが・・・残念！

「健康」という花言葉からも寒さに負けない元気を貰います。

「養生とは欲を抑えて「忍」の文字を大切にすることである。」貝原 益軒 養生訓 より

新しい年を皆様方とともに迎えることが出来ますことを心より感謝申し上げます。

2015-2016年度も半期を終え皆様のご協力ですべての25周年の記念事業を行うことが出来ました。

12月クリスマス例会は、2名の方が入会してくださいました、それに沢山の方がたが参加してください盛り上がり、嬉しい喜びのクリスマス例会でした。

クリスマスメッセージしていただきました、森 容子牧師様、独唱の杉田博子様、伴奏の田中美緒様 素晴らしいメッセージと美しい歌声本当にありがとうございました。

豪華な食事は手造りの提供だったそうです、後で知りびっくりでした、美味しくいただき感謝です。

25周年後半はこれからの甲府21について皆様方と語り合えることが出来ればと思います。

この1年皆様方の上に神様の御恵みと平安がありますようお祈り申し上げます。

以上

12月クリスマス例会報告

書記 寺田喜長

日時 2015年12月13日(日) 17:00~20:30

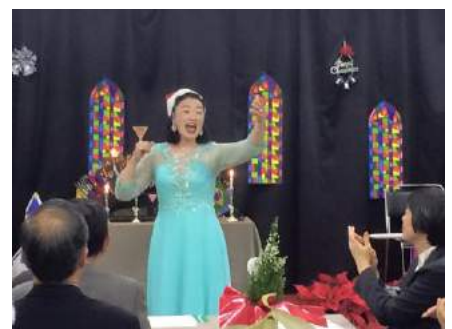
場所 山梨YMCA

駒田会長の点鐘で開会、第1部礼拝、清藤メン司会、五味メネット奏楽、クリスマスメッセージ「東方から



の贈り物」を日本基督教団峡南教会森容子牧師から賜り 25周年を記念するクリスマス例会が全会員出席にて厳粛な裡に始まりました。

第2部は ワイズソング、ワイズの信条、駒田会長の挨拶にて例会が持たれ続いて入会式が行われました。駒田会長司式のもとに荻野清氏、小澤智之氏の入会者2名が標あずさ部長、茅野 EMC 委員長、野々垣メン立会のもと壇上にてキャンドル点火の中、力強い入会宣言を述べられました。ワイズバッジが装着されて新ワイズメンが誕生し、歓迎挨拶が駒田会長、標あずさ部長より送られました。野々垣メンより二人の紹介





があり盛大な拍手の中に入会式は終了しました。続いて田中美緒さん伴奏にて杉田博子さ

んの独唱をお聞きし、美しい声の冬の歌、クリスマスの

歌を堪能、心洗われるひと時をもつことが出来ました。第3部祝会は功刀メンの食前感謝の祈り、標あずさ部長の乾杯にて始まりました。新会員をお迎えする為にクリスマス例会担当のEMC委員野々垣メン家族、廣瀬メン、メネットが朝から準備をして下さいました盛りだくさんの手作り料理、そして各種の飲み物が用意され又、会場の内装もカーテン等が佐藤メンの配慮にて整備されており25周年クリスマス例会を祝う環境が用意されて、七つのテーブルにクジ引きにて同席した面々が直ぐ楽しく交わる事が出来ました。森牧師御一家やその他のゲストの方々を紹介、12月誕生者を祝福と進み、相川メン、葉袋メンによるオークションは例年より多く協力いただいた献品が次々と落札され、たいへん盛り上がりの中、定刻閉会となりました。尚、皆様からの献金の一部はYMCA国際募金への協力金として露木主事にお渡ししました。最後は甲府21らしく全員で速やかに後片づけを済ませて楽しい会を締めました。

ゲスト出席者

森容子牧師、深沢宥二氏(牧師ご主人)、徳田公子様(牧師ご母堂)、杉田博子様(演奏者)、田中美緒様(演奏者)、標あずさ部長、新居智恵様(YMリーダー)、三沢良徳



氏(YMリーダー)、田草川すみえ様(YW会長)、露木総主事、同由美夫人、小澤悦子様、田草川啓氏、同貴子夫人・・・14名

メンバー出席者

メン 相川、稲垣、鎌田、功刀、輿水、駒田、佐藤、清藤、茅野、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、松村(禎)、松村(豪)、葉袋、山縣、荻野、小澤・・・20名

メネット 相川、駒田、五味、清藤、寺田、野々垣、廣瀬、古屋、松村(仁)、葉袋、山縣、荻野・・・12名 計46名

会員ペンリレー 世界遺産白神山地・十二湖めぐり・岩木山

駒田勝彦メン

<岩木山 登山>

岩木山は津軽地方の目印的存在で、弘前市、鱒ヶ沢町広がる青森県内では一番高い山です。

標高が1,625mで山梨県付近の山と比べれば低い山ですが北に位置していることもあり、標高以上に高山の山容です。別名“津軽富士”ともいわれています。また活火山で、「富士山」と同じです。

この日(2015年10月11日)は天気予報が崩れることを放送していました。まず岩木山ふもとの岩木山神社を拝見しました。神社は地元で愛されるだけのことはあります。立派な建物で見ごたえがあります。岩木山からの湧水が清水となっています。

神社見学中に天候が怪しくなりましたので、下からではなく八合目からの登山に切り替えることにしました。

八合目の駐車場に向かいました、つづら折りの急な登り、標高が上がるにつれ沿道の紅葉はまさに見ごろ赤や黄色と色とりどりに変化しその素晴らしさに感動しました。八合目では心配された天候もどうやら持ちそうです。駐



車場からしばらく急な笹と低いダテカンバの道を登ります。この辺はもう葉がありません、笹の道を抜けると終点リフト駅の左に出ました、振り返ると眼下に素晴らしい紅葉の山並みです。そこから避難小屋を過ぎいよいよ岩木山頂上への直登になります。すると独立峰独特の風が強く吹いてきました。頂上直下の150m位の地点では強風が前、横、後ろと襲います。毛網の帽子を耳が隠れるまでかぶっていましたが飛ばされあわやと思いましたら石の陰に止まり助かりました。ただひたすら風で体が舞い上がらないようにするのが精いっぱいです。岩にへばりつくようにして登ります、気象庁のホームページで見ますと風速25m~30mくらいとありました。頂上での眺望は素晴らしいのですが、写真タイムも立ってられない、じっとしてられないのでそこそこに下りました。駐車場に戻り岩木山を見上げるともうガスの中でした。

<白神山地・十二湖めぐり>

白神山地とは

白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる130,000haに及ぶ広大な山地帯の総称です。このうち原生的なブナ林で占められている区域16,971haが1993年12月に世界遺産として登録されました。青森県側の面積は、その約4分の3を占め、12,627haとなっています。

白神山地の特徴

白神山地の特徴は、人為の影響をほとんど受けていない原生的なブナ天然林が東アジア最大級の規模で分布していることにあります。特に世界遺産地域は、最も良く原生状態が保たれており、その価値は、地球的に見ても極めて重要であると評価されています。

ブナ林は、動物の餌となる植物が多く、他の森林に比較して豊富な動物が生息しているほか、水源涵養機能や地表侵食防止機能なども高いのが特徴です。このような多面的な機能や美しさは、近年日本でも高く評価される

ようになっています。

文明の発達とともに地球上の自然が次第に失われて来ましたが、幸いにも日本にはまだ豊かな天然林が残っていました。 —世界遺産白神山地—参照

<十二湖めぐり>

十二湖散策コースのスタート地点は、森の物産館「キョロロ」。

十二湖という名称について次のように書かれていました。「十二湖は世界自然遺産白神山地に隣接する観光地です。1704年の大地震によって川がせきとめられ形成されたという「十二湖」は、大崩山山頂から眺めると十二の湖が見えることから名づけられました。実際には33の湖沼が広大なブナの森に点在します。」

歩き始め最初に、鶏頭場の池という広葉樹に囲まれた大きな緑色の湖にでました。

次に少し下り十二湖の内特に有名な青池に行きました。この時さもない池、なんでこの池がそんな位と思える位の池です。

青池の資料によると「その名のとおり、透きとおった群青色の水面をのぞかせているのが、「青池」と呼ばれる「十二湖」の代名詞ともいえる名湖です。面積約975㎡、最大深度約9mほどで、十二湖の湖沼群のなかでは特に大きい方ではありませんが、倒れたブナや遊泳する小魚が透けて見え、「青インクを流し込んだような」と形容される、その美しい青さの秘密は、現代科学でも解明することができておらず、訪れる人々を神秘と幻想の世界へと導いています。」とありました。



そうかな~と思いつつ最初のその時は、青池を過ぎたのですが、コースを一回りしてもう一度この青池に寄った時、それはそれは、資料に偽りなしの実感を味わいました。まさに神秘の色「青インクを流し込んだような」コバルトブルーです。湖底から湧きいでる水による波紋の湖面を渡るリンク、その波に揺れる湖面の落ち葉、しばし時を忘れさせてくれます。

これは特別な地形と池の大きさ周りの木々等自然が作り出した至極のものと思います。

青池を過ぎ少しの登りその途中に驚く程のきのこの大きな倒木にビッシリ、ツキヨダケらしいとのこと、そこから、



約500メートルにわたるブナ森林と言われる地に出ました。道には弾力のあるチップが巻かれています。上を仰げば、緑と少し秋めいた色の木々たち。森林では、ブナのほかにカエデやヒバなどがあります。

ブナ林から少し下ると、沸壺の池にでました。青池よりもややグリーンがかった色で透明度も高いのか、底まで見えます。その名のとおり湖底から湧いています。

沸壺の池から更に下ると自動車道路に出ました。少し下り十二湖庵(茶屋)がありました、沸壺の池の水を使った抹茶を飲めるとのこと、なんとお値段は、「こころざし」早速お願いして一服いただきました。目の前には、落ち口の池を見ながらのなんと幸せなこの時でしょうか。更に自動車道を下り、中の池を見ながらなお下ります、十二湖ビジターセンターに到着、資料の閲覧と十二湖の由来ビデオ鑑賞で知識を蓄えました。(実は少し疲れたので休み)

更に下り、越口の池に到着、ここには「イトウ」いう魚の養魚場がありました。イトウはなかなか取れない魚だそうです、更に下り右に王池を見ながら行きますと大きな三叉路に出ました。ここで今後の進路を確認してキャニオン展望台を目指すことにしました。

更に下り、王池西湖から二ツ目の池を過ぎ八景の池と進みここから舗装道路から山道に入りました。硬い道路から



自然の道に入り林に囲まれてなんとなくホッとします。自然林の少し急な坂道の中を進み登り切ったところで、キャニオン展望台に到着、「日本キャニオン」という名前はアメリカのグランドキャニオンに由来しているのだからか！(やっぱり!)自然豊かな山に白い岩肌がむき出しになっている景勝地、ここで昼食にしました。

そこから緩やかなアップダウンと道道に出会う大きな桂の木、こんなこともありました、この木は何か「ヒノキかアスナロ」と言ったところ少し離れたところに名札があり「ヒノキアスナロ」とありました。

更に進み少し凹んだ地にかすかな水 影坂の池 また更にグリーンの水色 日暮の池、仲道の池を過ぎ原生林の中、行き交う人もなく静かなほぼ平らな道を語らいながら木々に癒され、沸壺の池と戻り、多くの観光客で賑合う青池に来て感動し出発地に戻りました。

12月第2例会報告

書記 寺田喜長

日時 2015年12月15日(火) 18:30

場所 山梨YMCA

出席者 駒田、相川、稲垣、功刀、茅野、寺田、
葉袋、松村(豪)、山縣 9名

協議事項

1、新年例会について

日時 2016年1月12日(火) 午後6時30分
場所 談露館

甲府クラブとの合同例会です。出欠をお知らせ下さい(今月中)

2、2016年2月例会について

「YMCAを学ぶ」会として大和田浩二氏(YMCA同盟研究所所長)を講師にお迎えし研修会例会を行う。新旧会員を問わずにYMCAについて学ぶ良い機会です。メネットにも参加していただき共に研鑽する。

3、3月、5月例会のゲスト卓話者について

- 1) 共同通信社の澤田さん・・・大村博士のノーベル賞受賞式に同行取材をした記者(茅野メン)
- 2) 「甲州カルタ」を考案者の元当クラブ会員の末氏(松村メン)・・・新年例会にてカルタを販売する。

澤田さんへの交渉から進める。

4、4月のクラブ研修例会について

研修テーマ「25年を顧みる」、「次への計画」と題して2名に発題をして頂く。・・・古屋メン、稲垣メンに依頼する

25年を顧みる資料作成・・・駒田会長

5、次期年度役員構成について

松村禎夫メン次期会長時の役員人事、及び各委員構成を来月中には決め東日本区に報告できるように準備する。

6、餅つき会について

中島家の予定していたもち米が確保できない状態になり中止することとした。

なお、在庫のある米を提供して下さり売り上げを当クラブの資金として下さいの申し入れが有りました。

5 kg 1,500 円にて協力下さい。ただし現品引き渡しは来年になります。(寺田扱い)

新米ではありませんが精米してないコメを精米してお渡しします。寿司屋が好んで使用するそうです。

7、その他

- ・ 1月ブリテン原稿締め切りは 12月 25日
- ・ 1月の第二例会は 1月 20日 (水) 午後 6時 30分から・・・水曜日です！！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆ 山梨YMCA 通信 ☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

総主事 露木 淳司

新年あけましておめでとうございます。

山梨YMCAは昨年同様、本年も“For All”の精神で地域福祉に貢献することを目的に、事業計画を推進していきます。変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。今年 5 月には創立 70 周年を迎えます。折しも道路拡幅に伴う会館取り壊しの噂が取り沙汰され始め、将来計画検討委員会の動きが活発になってまいりました。正に分岐点に立っていることを実感しながら、次に進むべき方向を見定めなければなりません。各方面から耳寄りな情報を収集していただき、画期的な展開をひそかに期待しています。

また、本年、職員の小池知寿が出産のため休職扱いとなりますが、後任として男性のスタッフを採用させていただきました。それぞれの例会にて皆様にもご紹介させていただきますので、お引き立てのほどよろしくお願ひ申し上げます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

▼ ワイズソング (いざ立て)

訳詞 淵田 多穂理

いざ立て	心あつくし
手を挙げ	誓いあらたに
われらの	モットー守る
ふさわし	その名ワイズメン
絶えせず	めあて望み
この身を	捧げ尽さん

歌えば	心ひとつに
ともがき	ひろがり生きて
遠きも	近きも皆
捧げて	立つやワイズメン
栄えと	誉れ豊か
まことは	胸にあふれん

▼ ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう
1. 義務をはたしてこそ、権利が生ずることをさたろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

▼ YMCAの歌

作詞 淵田 多穂理

作曲 津川 圭一

若人の	あつきいのりは
百年の	歴史をつづる
とこしえの	のぞみにもえて
さかえあり	YMCA
われらまた	こぞりて立たん

開拓の	みむねかしこみ
福音の	み旗は進む
地のはての	国々までも
ひかりあり	YMCA
われらまた	勇みて行かん

民族の	へだてとりさり
手をつなぎ	一つとなりぬ
もろともに	心合わせて
みのりあり	YMCA
われらまた	誓いて勝たん